

1 ステアリン酸

2 凝固点の項を次のように改める.

3 凝固点 装置は内径約25 mm, 長さ約150 mmの試験管を, 内
4 径約40 mm, 長さ約160 mmの試験管の内側に取り付けた構
5 造を持つものからなる. 内側試験管は栓をし, その栓には最
6 小目盛りが0.2℃, 全長約175 mmの温度計を水銀球♦の上端♦
7 が試験管の底から約15 mmの位置にくるように固定する.
8 内側試験管の栓は, 更に下端に外径約18 mmの輪が直角に
9 取り付けられたガラス製又は他の適切な材料からなるかき混
10 ぜ棒を通す穴を開けたものとする. 1 Lのビーカーの中央に
11 上記のようにジャケットを取り付けた構造を持つ内側試験管
12 を取り付け, そのビーカーには, 適切な冷却液を上部から
13 20 mm以内まで満たす. 試料をあらかじめ加温して溶かし,
14 内側試験管に温度計の水銀球が十分にかくれるまで入れ, 急
15 速に冷却し, おおよその凝固点を求める. 内側試験管をおお
16 よその凝固点よりも約5℃高い温度の浴に入れ, 最後の少量
17 の結晶のほかは全て溶けるまで放置する. ビーカーに予想し
18 た凝固点よりも5℃低い温度の水又は飽和食塩水を満たし,
19 内側試験管を外側試験管に取り付ける. 幾らかの種結晶が存
20 在することを確認し, 結晶が析出し始めるまで十分にかき混
21 ぜる. 結晶が析出する際の最高温度を読み取り, 凝固点とす
22 る.

23 また, 凝固点測定法 (2.42) に規定する装置も使用できる.
24 試料をあらかじめ加温して溶かし, 試料容器Bの標線Cまで
25 入れ, 浸線付温度計Fの浸線Hを試料のメニスカスに合わせ
26 た後, 急速に冷却し, おおよその凝固点を求める. 試料容器
27 Bをおおよその凝固点よりも約5℃高い温度の浴に入れ, 最
28 後の少量の結晶のほかは全て溶けるまで放置する. Dに予想
29 した凝固点よりも5℃低い温度の水又は飽和食塩水を満たし,
30 BをAに取り付ける. 幾らかの種結晶が存在することを確認
31 し, 結晶が析出し始めるまで十分にかき混ぜる. 結晶が析出
32 する際の最高温度を読み取り, 凝固点とする.

33 凝固点は, ステアリン酸50は53 ~ 59℃, ステアリン酸
34 70は57 ~ 64℃及びステアリン酸95は64 ~ 69℃である.

35

36